



本体重量 14.8kg
 受枠重量 6.8kg
 合計重量 21.6kg

表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ
 (JIS H8641)
 受枠は錆止め黒塗装仕上げ

主部材詳細図

訂正年月日 標準製作図面 訂正年月日 訂正番号 訂正年月日 訂正事項 訂正年月日 訂正事項 訂正年月日 訂正事項 訂正年月日 訂正事項	検査 検査項目 検査結果 検査者 検査日	承認 承認項目 承認結果 承認者 承認日	検査 検査項目 検査結果 検査者 検査日	承認 承認項目 承認結果 承認者 承認日	製図 製図者 製図日 製図用紙 製図機	図面名称 図番	株式会社 マキテック MK駐輪事業部 MKG-L-974	
	標準製作図面 訂正年月日 訂正番号 訂正年月日 訂正事項 訂正年月日 訂正事項	検査 検査項目 検査結果 検査者 検査日	承認 承認項目 承認結果 承認者 承認日	検査 検査項目 検査結果 検査者 検査日	承認 承認項目 承認結果 承認者 承認日	製図 製図者 製図日 製図用紙 製図機	図面名称 図番	株式会社 マキテック MK駐輪事業部 MKG-L-974
	標準製作図面 訂正年月日 訂正番号 訂正年月日 訂正事項 訂正年月日 訂正事項	検査 検査項目 検査結果 検査者 検査日	承認 承認項目 承認結果 承認者 承認日	検査 検査項目 検査結果 検査者 検査日	承認 承認項目 承認結果 承認者 承認日	製図 製図者 製図日 製図用紙 製図機	図面名称 図番	株式会社 マキテック MK駐輪事業部 MKG-L-974
	標準製作図面 訂正年月日 訂正番号 訂正年月日 訂正事項 訂正年月日 訂正事項	検査 検査項目 検査結果 検査者 検査日	承認 承認項目 承認結果 承認者 承認日	検査 検査項目 検査結果 検査者 検査日	承認 承認項目 承認結果 承認者 承認日	製図 製図者 製図日 製図用紙 製図機	図面名称 図番	株式会社 マキテック MK駐輪事業部 MKG-L-974

ますふた(110度開閉式)ハイテックレーシング
 開口300×600用 細目ノズル
 T-14・T-6

LNHFB325-36
 MKG-L-974

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品名	LNHFB325-36
	製品寸法	700x290x32
	主部材	I-5 × 3 × 32
	断面係数	Z = 0.794 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-14	支点間距離	L = 600
	後輪一輪荷重	P = 56000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、横断
	主部材ピッチ	O = 15 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 500 mm		

3 強 度 計 算	<p>1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。</p> $\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$ $\omega = 56000 \times (1 + 0) \times 15 / 100000$ $\omega = 8.40 \text{ (N/mm)}$
	<p>2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。</p> $M = \omega \times 0.5 \times a \times (L - 0.5 \times a) / 2 \quad \text{より}$ $M = 8.4 \times 0.5 \times 200 \times (600 - 0.5 \times 200) / 2$ $M = 210,000 \text{ (N・mm)}$
	<p>3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm²) を求める。</p> $\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$ $\sigma_b = 210,000.0 / 794.000$ $\sigma_b = 264.48 \text{ (N/mm}^2\text{)}$ <p>従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm²) に対し、</p> $\underline{264.48 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 320 \text{ (N/mm}^2\text{)}}$

4 総 括	<p>上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。</p>
-------------	--

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品名	LNHFB325-36
	製品寸法	700x290x32
	主部材	I-5 × 3 × 32
	断面係数	Z = 0.794 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-6	支点間距離	L = 600
	後輪一輪荷重	P = 24000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、横断
	主部材ピッチ	O = 15 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 240 mm		

3 強 度 計 算	<p>1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。</p> $\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$ $\omega = 24000 \times (1 + 0) \times 15 / 48000$ $\omega = 7.50 \text{ (N/mm)}$
	<p>2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。</p> $M = \omega \times 0.5 \times a \times (L - 0.5 \times a) / 2 \quad \text{より}$ $M = 7.5 \times 0.5 \times 200 \times (600 - 0.5 \times 200) / 2$ $M = 187,500 \text{ (N・mm)}$
	<p>3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm²) を求める。</p> $\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$ $\sigma_b = 187,500.0 / 794,000$ $\sigma_b = 236.15 \text{ (N/mm}^2\text{)}$ <p>従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm²) に対し、</p> $\underline{236.15 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 320 \text{ (N/mm}^2\text{)}}$

4 総 括	<p>上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。</p>
-------------	--